

令和2年 **9**月の優しさ通信



国内初の所得補償保険 知的障がい者 親らの団体

大手損保と連携し開発

*知的障がい者の親らでつくる「全国手をつなぐ育成会連合会」が大手保険会社と協力し、障がい者やその親が病気などで働けなくなった際の所得などを補償する団体保険の販売を始めました。

*障がい者本人らを対象にした所得補償保険は国内初。

*保険に加入できるのは、会員か、家計を支えるその家族ら。

(2020年8月14日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



要介護「予備軍」早く発見

「フレイル健診」15項目でチェック

保健師が生活指導、悪化防ぐ

*今年4月から75歳以上の高齢者を対象に、要介護になる手前の状態かどうかを判断する「フレイル健診」が始まりました。

*15項目の質問票で要介護“予備軍”を見つけ、個別指導や医療機関の受診につなげます。

*フレイルは「虚弱」を表す言葉。

*対象となった高齢者は、自治体の保健師らが自宅を訪問し、生活指導や医療機関の受診につなげるのが主な流れ。

*全国的には後期高齢者向けの健康診査の受診率は現在、3割程度。

健康寿命延ばし医療費抑制

*2017年度の国民医療費は約43兆円。

*要介護認定者は3月時点で669万人。この10年間で4割ほど増。

*健康寿命は最新の2016年で男性が72.14歳、女性が74.79歳。



「フレイル」に関する質問票の 15 項目

・現在の健康状態は	・ウォーキング等の運動を週に 1 回以上しているか
・毎日の生活に満足しているか	・周りから物忘れがあるといわれるか
・1日3食きちんと食べているか	・今日が何月何日かわからない時があるか
・半年前に比べて固いものが食べにくくなったか。	・煙草を吸うか
・お茶や汁物等でむせることがあるか	・週に1回以上は外出しているか
・6か月間で2~3kg以上の体重減少があったか	・家族や友人と付き合いがあるか
・歩く速度が遅くなってきたか	・体調が悪い時に、身近に相談できる人がいるか
・1年間に転んだことはあるか	

(2020年8月31日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



コロナ下、認知症悪化の懸念 運動・計算・・・家で工夫

*新型コロナウイルス感染症の流行拡大で不要不急の外出自粛が求められ、家に閉じこもる認知症の高齢者に影響が及んでいます。

*外出や人との交流が制限され、認知機能が悪化していると専門家の半数近くが指摘。

(2020年8月31日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



今月の福祉用具－衣服の管理 家庭洗濯 洗濯用洗剤

*皮膚の敏感な人（老人性皮膚乾燥症、アトピー性皮膚炎など）は、合成洗剤による皮膚障害などを起こす場合もあるのでなるべく粉石けんを使用。

*合成洗剤を使用する場合も洗剤が衣服に残留しないように、洗剤はよく溶かしてから使用し、すすぎをきちんとすることが大切です。

*粉石けんは水に溶けにくいですが、水温を上げることによりよく溶けて洗浄力も増します。

*木綿、合成繊維・・・粉石けん、弱アルカリの合成洗剤

*ウール、シルク・・・中性洗剤またはドライクリーニング

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより)